

電子号外は岩手日報ホームページ(<https://www.iwate-np.co.jp/>)でもご覧になれます。

# 横綱稀勢の里引退

## 進退懸けた初場所不振

大相撲の第72代横綱稀勢の里(32)は本名萩原寛、茨城県出身、田子ノ浦部屋が16日、現役を引退することが決まった。師匠の田子ノ浦親方(元幕内隆の鶴)が明らかにした。進退を懸けて臨んだ初場所が初日から3連敗と不振だった。先場所でも横綱として87年ぶりに初日から4連敗(不戦敗を除く)を喫し、横綱審議委員会で初の「激励」を決議されていた。

高い人気を誇ったが、相次ぐ故障もあって優勝2回、昭和以降10番目に短い在位12場所に終



初場所3日目、寄り切りで栃煌山に敗れ、土俵下でぼうぜんとする横綱稀勢の里。15日、両国国技館

稀勢の里 寛(きせのさと・ゆたか)は本名萩原寛、茨城県牛久市出身、田子ノ浦部屋。02年春場所に鳴戸部屋から初土俵。17歳9カ月の新十両、18歳3カ月の新入幕はともに貫乃花に次ぐ史上2位の若さ。10年九州場所まで白鵬の連勝を63で止めた。11年九州場所後に大関昇進。13年12月に部屋の名称変更。17年初場所後に第72代横綱に昇進。同年春場所で22年ぶりの新横綱優勝。優勝2回。殊勲賞5回、敢闘賞3回、技能賞1回。得意は左四つ、寄り、突き、押し。188センチ、177キログラム。32歳。

わった。横綱の引退は一昨年11月の日馬富士以来。最高位はモングル出身の白鵬と鶴竜の2人となり、日本出身はいなくなる。15歳の2002年春場所で初土俵を踏み、左おっつけなど力強さが持ち味。初優勝した17年1月の初場所後に30歳で最高位に昇進した。日本出身の横綱誕生は19年ぶりだった。新横綱で臨んだ17年3月の春場所で左上腕などの負傷を押して2場所連続優勝を遂げた。その後はけがの影響が残り、故障に苦しんだ。17年5月の夏場所からの8場所連続休場は年6場所制となった1958年以降で横綱のワースト記録と精彩を欠いていた。